

小学校外国語教育における絵本教材の活用方法についての考察

絵本 *Mr Wolf's Week* を用いた外国語活動

伊藤 摂子

1. はじめに

小学校外国語教育は 2020 年度から高学年で教科化、中学年で必修化として全面実施され、外国語教育を担うのは主に小学校学級担任とされている。文部科学省が発表した「平成 30 年度 小学校等における英語教育実施状況調査」では、現在必修化で外国語活動が実施されている小学校 5, 6 年生の主として担当する外国語教育担当教師数を見ると、80.5%の学級で学級担任が指導を実施しているという結果であった。しかしながら、多くの小学校教師は英語指導の専門家ではなく、小学校教師のうち中・高等学校英語免許状を所有している割合は 5.9%、外部試験を受験した経験のある教師の割合は 39%でありそのうち CEFR B2 レベル以上（英検準 1 級、TOEFLiBT72 点～、文部科学省「各資格・検定試験と CEFR との対照表」より）を取得している教師の割合はわずか 1.2%となっている。そのような中で文部科学省は活動のひとつとして絵本教材を用いての指導を提示しており、指導を補助するために文部科学省が用意をしたテキスト教材 *Let's Try!1*、*Let's Try! 2* の中にも、*In the Autumn Forest*、*Good Morning*、の 2 点のデジタル絵本教材が提供されている。

絵本教材活用の良い点としては絵本に描かれている絵をヒントにし、英語でも理解できる語や英文を手掛かりに、話の状況を理解しながら聞く、という活動を行うことになり、聞く以外の情報も含まれてはいるもの「聞いて内容がわかる！」という体験をすることが可能である。文部科学省は *Let's Try!1* のテキストの中で、コミュニケーションは、「話す」ことというより、相手の話を「聞く」ことから始まる。聞いて相手の話していることがわかる体験をたくさん児童にさせることが大切である。

と示しており、絵本の絵から情報を読み取り、状況を理解しながら児童は相手の話を聞くことになるため、「聞いてわかる」体験をさせやすい。絵本教材はこのような利点があるものの、指導案が用意されていない一般的な絵本教材に関しては学級担任が自らの判断で絵本を選択、指導案を作成するという点に関しては、時間、知識、業務の多さから現実的ではなく、またそこで扱われる語彙、英文、使用目的もそれぞれ大きな違いがあり、英語指導の専門家ではない学級担任が指導目的に合った絵本教材を選択することやそれらの指導の方法を考えることは容易ではない。彼らがスムーズに指導を行える絵本教材が必要であり、小学校外国語教育で多く取り上げられる語彙や英文を中心に扱う教材とその指導案や指導方法の提示が求められる。そこで本稿は、指導目的に合った教材の選択やそれを用いた指導方法を、絵本 *Mr Wolf's Week* を用いて提案し、小学校学級担任が指導をする絵本教材の活用方法や求められる教材についての考察をおこなっていく。

2. 絵本の選定

絵本教材が小学校外国語教育の指導で有用な教材の一つであることは前章に述べた。本稿では、小学校中学年の外国語活動において使用語彙として示されている「曜日」に焦点を当てた。今回取り上げる *Mr Wolf's Week* は曜日、天候、着るものの 3 つが主な語彙グループであり、動詞は **be** 動詞の“is”と、三単現の“s”がついてはいるものの一般動詞の“puts on”の 2 種を繰り返し扱っているものである。このように絵本を選定する際、指導内容の中心を何とするのか、今回は曜日、天候、着るものを学習で扱う中心としたが、それをきちんと定め、学習目標の内容となるように考えて授業を組み立てる。また、英文が“曜日+is+天候.”、“**Mr Wolf puts on**+着るもの+続きの文（動詞を含む）.”となっており、決まった形の英文の繰り返しとなっている。そのため、「着るもの」が英文のどの位置に来るのか、「続き文の動詞」がどこに来るのか、「天候」の言葉がどこに来るのか、というような高学年の指導とされている文構造に関しても、触れることが可能であり、その後の気づきにつなげやすい構成となっている。このようなパターン化した英文が繰り返し出てくるとは、児童にとって学びやすく、上述のような気づきにつながるため、絵本教材を選ぶ際のポイントとして重要な要素の 1 つとなる。

松本(2017)は英語絵本の選定条件試案として、①絵本の長さ、②英語が平易である、③英語に特徴的な音声やリズムである、④絵本作品として優れている、⑤遊びの要素がある、⑥他教科との融合がしやすい、⑦児童が参加しやすい、⑧物語の構造が繰り返し構造または起承転結型である、⑨テーマを持つ、⑩主人公、登場人物の設定が魅力的である、という 10 の項目を挙げ、絵本選定の際の基準指標を挙げている。絵本 *Mr Wolf's Week* のパターン化した英文はこの⑧に該当するものであり、①、②、③の絵本の長さ、英語の平易さ、音声やリズムの特徴と合わせ、小学校外国語教育の絵本教材として活用できる絵本と考えられる。

3. *Mr Wolf's Week* の言語材料と活動

この絵本は全31ページの月曜日から日曜日までの天候の様子と主人公の狼がその日に身に着けているものが文章とイラストで示され、最後にもう一度月曜日から日曜日までの狼の身に着けているものが同じイラストを記載して曜日名を見ていく絵本となっている。扱う英文は前章で述べたように“曜日+is+天候.”、“Mr Wolf puts on+着るもの+続きの文（動詞を含む）.”の形である。以下に月曜日のページの英文を記載する。（一重下線、二重下線は本稿の筆者が加えた）

“Monday is wet. Mr Wolf puts on his raincoat and rubber boots, takes his umbrella...”

“...and strides out in the rain.” (Hawkins, 2004)

この二重下線部が各曜日で変化し、狼の着るものやその曜日の楽しい様子が絵本のイラストから伝わってくる内容となっている。続く英文、“...and strides out in the rain.”では水たまりを踏んで水を飛ばしたり、水たまりを踏もうとして体がすっぽりと水たまりに使ってしまったりというように、遊びの要素もあることから、児童がキーとなる英文以外においても興味を持って話を聞いてみるができる要素がある。

二重下線部の言語材料として、各曜日、raincoat、rubber boots、checked coat、yellow scarfred cap、warm sweater、scarf、mittens、two pairs of socks、overcoat、gloves、woolen hat、boots、red jacket、yellow trousers、jogging suit、shorts、sunglasses が使用され、色などの形容詞にも触れることができる。この教材を楽しく学級担任が活用できるものとするための、単元計画や指導案を絵本の選定だけではなく、その絵本と合わせて示すことで、初めて学級担任が外国語の授業の中で活用できるようになる。以下にこの絵本を8回の授業（小学校45分授業として）で実施する場合の単元計画を例示する。

回数	内容
1回	曜日の導入。曜日の歌、曜日を扱った活動
2回	天候関連言葉の導入。曜日と天候を合わせた文を使って活動。Monday is wet.
3回	曜日・天候（WSなどでの活動）。身に着けるもの（単数）の紹介。（形容詞なし）
4回	曜日・天候（復習）。色の導入。色+身に着けるもの
5回	曜日・天候・色（復習）。身に着けるもの（複数）と数字。数字+身に着けるもの
6回	曜日・天候・色（復習）。その他の形容詞と身に着けるもの。
7回	Mr Wolfの着替え！児童の好きなものを身に着けさせる。それを発表する。
8回	絵本の読み聞かせ。 Mr Wolf's Week

上記の一例を参考に、担任であればだれでも指導ができるようにするためには、指導内容として、①英文の長さ；長くならず、耳で聞いて反復できる長さとし、②適切な学年；英語の理解度合いを考えて過剰な負担にならない教材を考え、③扱う語句；扱う中心となる語句が授業の中で十分理解可能であり、④中心となる英文；多くの英文を扱うのではなく絞り込んだ数の英文を中心と据え、⑤繰り返し；英文、単語など繰り返し使う、上記の例では曜日は初回、天候は2回目から以降何度も繰り返し使われている、これらを考慮しながら指導計画(単元計画)と指導案を立てていくことが求められる。そのうえで1つの絵本教材全体として、1)何を指導するのかの明確化、2)指導手順(単元計画)、指導案の提示、3)音声補助が可能となるようにする。上記の例では1)曜日、天候、着るもの(語彙)“曜日+is+天候.”、“Mr Wolf puts on+着るもの+続きの文(動詞を含む).”(英文)、2)上記の単元計画、各回の指導案、3)付属CD、となり、指導内容の5つの提言、教材としての3つの提言を踏まえて指導用の教材を作成することで学級担任でも十分に指導が可能になると考える。これらの提言をもとにすることで、この絵本だけではなく他の絵本においても同様に、学級担任でも指導しやすい絵本教材の作成がより進めやすくなるのではないだろうか。

参考文献

松本由美(2017)「小学校英語教育における教材用英語絵本選定基準の試案—絵本リスト作成に向けて—」玉川大学リベラルアーツ学部研究紀要第10号

文部科学省(2018)『Let's Try! 1 指導編』, 東京書籍

文部科学省 「平成30年度 小学校等における英語教育実施状況調査」

http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1415042.htm

文部科学省「大学入試英語成績提供システムへの参加要件を満たしている資格・検定試験とCEFRとの対照表について」http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/30/03/1402610.htm

Howkins, Colin (2004) *Mr Wolf's Week* Jybooks (First published by William Heinemann Ltd in GB)